サステナブル経営の推進

ESGに配慮した経営

マテリアリティの特定

中期経営計画「Progress & Development 2030」にて、2030年に向けた重要課題抽出およびKPIの設定を実施しました。

マテリアリティのマトリックスマップ

E 環境　S 社会　G ガバナンス　事業 事業基盤

行動指針とマテリアリティの紐づけ

	行動指針	マテリアリティ	P&D2030の取り組み
E 環境	■気候危機を自分ごとに ■環境負荷低減 ■自然と社会の調和に配慮した製品開発	■生物多様性への配慮 ■環境コンプライアンスの徹底（化学物質管理 等） ■カーボンニュートラルへの対応 ■環境配慮型製品の拡大	■環境維持活動への参加 ■環境コンプライアンスの遵守 ■CO_2削減の検討 ■再生可能エネルギー活用の検討 ■バイオマス関連製品の拡大
S 社会	■製品の安全性・品質の確保 ■WIN-WINな関係に建設的な対話 ■安全で健康な環境づくり ■尊厳と権利の尊重 ■積極的に社会に参加 ■お互いの良さを活かし、補い合う公正・公平な取引関係の維持	■顧客・市場とのコミュニケーション ■安定した製品生産能力の確保 ■サプライチェーン・原材料の管理 ■品質保証体制の充実 ■安心で快適なくらしへの貢献 ■働きやすい職場作り（精神的・物理的環境／労働安全衛生） ■地域への貢献、コミュニケーション ■人権の尊重（人権デューデリジェンス 等） ■人的資源の確保	■品質に関するコミュニケーション ■品質不適合の削減 ■CSR調達の推進 ■バイオマス関連製品の拡大 ■健康経営の推進 ■人権方針の設定 ■地域との継続的交流
G ガバナンス	■維持可能な未来づくりに貢献 ■約束を守る、誠実、謙虚 ■組織的な危機管理の徹底	■事業継続（BCP）（リスクマネジメント） ■コンプライアンスの徹底（法令遵守 等）	■リスクマネジメント体制の維持 ■サステナブル経営による社会課題の解決
事業基盤	■ユニークな機能材料の提供	■研究開発力の強化 ■マーケッティング力の強化 ■知的財産戦略 ■資本効率の最大化 ■産学連携・学術支援	■研究開発効率の向上

マテリアリティに対する取り組み

ESG分野	重要課題（マテリアリティ）	主な取り組み	2026年度目標（KPI）	2024年度 実績	2024年度 主な活動実績	ステークホルダー 従業員	顧客/仕入先	投資家/株主	地域社会	未来の子どもたち	関連するSDGs
E	生物多様性への配慮	河川・海岸清掃等への参加	3件/年以上	7件	徳光海岸、庄内海岸、石川、大和川、事業所周辺等の清掃活動に参加	○	○	○	○	◎	13, 7, 6, 12, 14, 15
		大阪有機未来の森づくり活動	活動継続（CO_2吸収量1.9トン以上維持）	1.9トン	石川の森整備活動に参加	○	○	○	○	◎	
	環境コンプライアンスの徹底	環境苦情件数	重大コンプライアンス違反 0件/年	0件	該当する事例の発生無し		◎	○	○		
		エネルギー原単位 1%/年削減（大阪有機）	対前年度99%以下	90%	照明のLED化 コンプレッサーの負荷低減による節電 空調運転時間の短縮による節電 設備洗浄時間の短縮による節電	○	○	○	◎		
	カーボンニュートラルへの対応	CO_2排出量削減率（対2013年度比）	20%削減	7.5%削減	オフサイトPPAの導入	○	○	○	○	◎	
S	地域への貢献、コミュニケーション	地域団体・イベント等への参加	3件/月以上	7.5件/月	積極的に地域団体・イベント等へ参加	○		○	◎		11, 10, 12, 17
	顧客・市場とのコミュニケーション	お客様からの問合せ納期の遵守率	90%以上	84%	お客様からの要望やHPからの問合せへの返答		◎				
		顧客迷惑発生率［（返品+遅延）/出荷］	0.21%以下	0.14%	運送業者への教育の実施		◎				
	サプライチェーン・原材料の管理	カントリーリスク	累計3件解消	0件	リスクの高い3品目について、現行メーカーと異なる国のメーカー品を評価中		◎				
		当社CSR調達ガイドラインへの賛同率	90%以上	90%	購入金額上位会社をモニタリング		◎		○		
	品質保証体制の充実	重大クレーム発生件数	0件/年	0件	品質コンプライアンス研修の実施 3Hなどリスクアセスメントの実施		◎				

マテリアリティに対する取り組み

ESG分野	重要課題（マテリアリティ）	主な取り組み	2026年度目標（KPI）	2024年度		ステークホルダー					関連するSDGs
				実績	主な活動実績	従業員	お客様/仕入先様	投資家/株主	社会	未来の子どもたち	
S	働きやすい職場作り	有給休暇取得率	70%以上	66%	有給休暇取得促進	◎					
		残業時間の削減	全部門 月30時間以内	未達	残業時間削減促進	◎					
	人権の尊重（人権デューデリジェンス 等）	ハラスメント撲滅	0件	0件	コンプライアンス研修	◎	○	○	○		
	人的資源の確保	離職率（自己都合のみ）	2%以下	2.7%	ラインケア フィードバック面談、同研修、被考課者研修 エンゲージメントサーベイ キャリアデザイン研修	◎					
		入社3年後定着率	100%	74%	入社初年度面談 入社3年目以下の面談 産業カウンセラーによるカウンセリング	◎					
		従業員に占める女性比率に対する管理職に占める女性比率の割合	90〜110%	45%	キャリアデザイン研修	◎			○		
		キャリア採用比率	30%以上	19%	キャリア採用	◎					
G	事業継続（BCP）	CGC準拠率	100%	99%	女性取締役の登用			◎			
		レベル重大に属するインシデント	0件/年	0件	情報セキュリティ教育	○	◎	○	○		
	コンプライアンスの徹底	排水および廃棄物の管理（環境法令の逸脱）	0件/年	0件	廃油ボイラーの設置 工場排出水の水質監視の継続 電子マニフェスト使用の継続	○	○	○	◎		
		PRTRおよびVOC排出量の削減（vs 2019年度）	66%削減	9%削減	物質収支によるロス量の把握および監視	○	○	○	◎		
		重大な法令違反件数	0件/年	0件	法令遵守意識の徹底	○	○	○	◎		
事業	研究開発力の強化	新規製品売上高比率（過去4年累積）	10%以上	10.6%	次世代材料を中心とした半導体関連材料への積極投資	◎	○		○		
		研究開発効率	5倍以上	4.9倍	高収益製品開発への積極投資	◎	○		○		
		新規顧客の売上比率（2019年以降）	6%以上	2.0%	新規海外顧客へ向けた取り組み		◎		○		
		学会・論文・プレス発表等	10回以上/年	11回	新規開発品を関連学会で発表	○			◎		
	マーケティング力の強化	付加価値労働生産性（対2023年度 指数）	130以上	115	高付加価値製品へのシフト・生産性の向上	◎			○		
	知的財産戦略	特許・ノウハウ出願	15件/年以上	12件	事業に有益となる知財戦略の実施	◎			○		
	資本効率の最大化	ROE	10%以上	9.2%	事業ポートフォリオの最適化			◎			
	産学連携・学術支援	大学との共同研究	2テーマ以上	3テーマ	新規事業分野での共同研究	◎			○		

その他、ESGデータの詳細はホームページに掲載しています。

「データで見る大阪有機」
https://www.ooc.co.jp/csr/data/

「ESGデータ集」ガバナンス（G）データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_governance.pdf?ver=1

環境（E）データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_environment.pdf?ver=2

社会性（S）データ
https://www.ooc.co.jp/csr/data/pdf/esg_society.pdf?ver=2